

# 第 20 回 全日本カッター競技大会

日 時 昭和51年5月16日(日曜日) 午前9時から午後4時まで

会 場 競 技 場 芦屋沖海上 開会式閉会式 神戸商船大学構内進徳丸前 (雨天の場合 神戸商船大学体育館)

主 催 全日本カッター連盟

主 管 神戸商船大学

## 第20回 全日本カッター競技大会

日 時 昭和 51 年 5 月 16 日(日) 09:00 ~ 16:00

会 場 競 技 場 芦屋沖海上

開会式閉会式 神戸商船大学構内進徳丸前

(雨天の場合 神戸商船大学体育館)

主 催 全日本カッター連盟

出場 校 海 技 大 学 校

海上保安大学校

鹿 児 島 大 学

神奈川歯科大学

水 産 大 学 校

電 気 通 信 大 学

東 京 商 船 大 学

東京水産大学

長 崎 大 学

日 本 大 学

防 衛 大 学 校

三 重 大 学

主 管 神戸商船大学

## 第20回 全日本カッター 競技大会を迎えて

第20回全日本カッター競技大会会長神戸商船大学長 平 勇 登

薫風にそよぐ五月の海に、全国の海事関係大学から集まって来られた学生諸君が、 海の男のスポーツであるカッター競技に精魂を尽くして、今日のため研鑽を積まれ た成果を競われることはまことに心強く、また慶賀に堪えません。

本学周辺の海面は、埋立工事の進捗と船舶交通量の増大で本大会の実施について 決してふさわしい環境とは申せません。競技場の選定は、当番校として最も心労の 多いところでしたが、準備万端出来る限りの努力をいたしました。足りないところ は選手諸君の若さと闘志で補って頂き度いものと存じます。

選手諸君におかれては、どうか本大会のもつ意義をよく認識され、終始フェアプレイの精神に徹し、正々堂々と各人の力を十二分に発揮されて有終の美を飾られるよう希望して止みません。

最後に、本大会の運営と育成に常々ご協力を賜わっております関係各位に対して 深甚の謝意を表し、併せて今後一層のご支援をお願いしてご挨拶といたします。

昭和 51 年 5 月

#### 大 会 役 員

長 会 副 会 長 役 員

船 大 学 長 神 戸 商 神戸商船大学学生部長 学 技 大 校 海 上 保 安 大 学 校 海 児 大 学 鹿 島 神 奈 川 歯 科 大 学 学 産 大 水 校 電 学 気 通 信 大 京 大 学 東 商 船 京 大 学 東 水 産 長 崎 大 学 大 本 学 日 大 衛 学 校 防 大 学 Ξ 重 神 船 大 学 戸 商 大 学 神 戸 商 船

平 勇 登 誠 也 向 原 畑 司 長 坂 田 良 野 保 久 松 旲 藤 田 橋 本 市 雄 之 松 岡 籟 島 保 司 中 III郎 柳  $\equiv$ 柴 恵 · 司 田 哉 嶋 村 哲 木 黒 司 関 П 秀 夫 典 浦 昭 杉 宗 行 村 奥 鈴 木  $\equiv$ 郎

恒

 $\equiv$ 

蔵

治

審判長

神

戸

商

実 行 委 員

大

船

学

村 田 正 永 田 都志雄 池 裕 生 田 彥 檷 泰 和 片 Ш 哲 岡 田 手 和 広 中 馬 幸 高 原 森 賢 益 威 司 崎 쭀 本 恭 昭 矢 野 吉

_												
	海 技 顧問 長	大 畑 科	学 校 ] ·学年	司氏		名		(注) <b>⑥</b> 身長(cm)		◎印副	将 <b>身 校</b>	出身地
)	艇艇 12345678910112 務揮長	:機航航機航航航航機航機航機航機航航航機	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	●◎ 高中松山伊米金佐石田井古畑山小阿山山小  豫	橋沢口	安俊 静秀郁光行 勝泰義英隆一正和俊一	正弘涉馬樹郎男男完美二清文康郎行夫一郎	168 168 165 176 169 173 166 168 169 167 174 165 174 166 167 176	64 62 60 67 64	宮七鶴鎮門門久宮安粟村富海崇釜旭清粟	野 工 石 石 石 石 石 石 石 石 石 石 石 石 石 石 石 田 田 田 田	宮石山佐福鹿岩秋千愛兵長三広岩北静兵岩城川形賀岡島手田葉媛庫崎重島手道岡庫手
)	海顧 艇艇 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 2 務	安 科 航航航航機航航通航通航航通航航	大 学 4 4 2 2 3 2 4 2 2 2 3 3 3 3 2 2	◎● 木浜加長松中三松木坂御黒滝不金氏 質	田岡	祐祐尚貞史高基宏克雅俊喜良和宏	二一之暁典史実之己之郎年伸久二	身長(cm) 165 172 170 160 170 175 176 174 182 178 175 173 167 165 180	体重例 65 70 62 60 70 65 80 72 80 78 71 70 65 80	浦 旭筑桜小桃 薬松堀宇	身。 広川中 一、呉園江 屋校 一中 学 学 一学 一学 一学 一学 一样 医尾鼠	出 北広北福神福大広千島京大愛石新身 海 海 条 奈 地 道島道岡川岡阪島葉根都分知川潟

鹿 児	島大学					
顧問 枢	公 野 保	久		(注) ●印主	将 ② 印副将	
	科 •学年	氏	名	身長(cm) 体重(kg)	出身 校	出身地
艇艇 123456789111補補補補 主指 123456789012 務	: 漁漁経製製製漁漁漁製経経経漁増漁漁教製3332233223322332	横石中野長多松近下小平森川中久藤内篠河和 和 尾田村添南胡下 田野岡永崎野留重山崎野	健 正秀 彰秀英 昭滋晃栄浩久博正憲幸 太   太	170       60         170       63         170       62         171       64         175       68         170       60         172       65         173       67         172       70         174       72         176       70         170       64         162       58         171       65         172       65         175       65         172       68         168       70	佐市三錦加津加町市釜松錦加錦鶴宇鹿加柳世立 茂 世 立石山江世江 部島治川保静 水水 世 姫石山江世江 中島治川西岡池湾産山田田路南南湾田湾丸央央木商	【長静福鹿山岡鹿東兵岩愛鹿鹿鹿鹿山鹿鹿福, 児 児 児児児児 児児別別 別別の 別島 別島 東手媛島島島田島島岡(一) 崎岡岡島形山島京庫手媛島島島島口島島岡(一)
	川寨   本   大   5   5   3   4   2   2   5   2   2   3   2   4   4   5   4   5   5   5   6   6   6   6   6   6   6	学二 ★土小間金加松河斉篠板山田井塩有 石氏 見 見 村肥山宮坂藤下合藤塚倉本 上津山 松	章英勇泰親克豊茂英嘉茂一慶昌邦名 大城臟司司輔士樹二昭行人一郎弘茂 朗	身長(cm) 体重例 172 60 170 72 170 65 170 55 168 66 168 57 168 75 165 60 180 62 173 65 162 50 167 62 173 70 175 68 165 62 172 59	· 総旭日 逗成延京松笠関津天枕 日出 子 岡 東 田身 川石 開 六 高校 社東島 成章西北江岡浦山城崎 校	出岡北岡岐千東神愛宮東島岡神岡岡鹿 大身 海 奈 奈 原地山道山阜葉京川知崎京根山川山山島 分

水産	大 喬 本	学校市	雄				(注)	●印主	将 ② 印副将	
TER IFU III	科	· 学年	E	F	Ź	7	身 县cm)	体重Kg)	出身校	出身地
艇艇 主指 1234567890112 稀補補補	് 丹漁漁増機漁漁機機機機機漁漁漁製漁機漁製	· 3 2 3 3 3 2 3 3 2 3 3 2 3 3 3 2 3 3 3 3 2 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3	安坂比小西財中宮田大戸今山岡辻二丹宮辻」	2、藤井松篠部津島本中東田川梨崎元宮野田元	<ul><li>豊健好英国正秀知正和英孝嘉明孝 裕泰孝</li></ul>	。   盛裕彦信夫隆昭行信広明文久彦次通二司次	173 169 167 165 162 174 166 178 181 176 174 175 176 171 169 175 175	65 61 60 58 60 73 64 68 75 73 72 70 68 64 60 66 65 60	富長安玉帯筑宮町朝清香春日大有松神搭有出 広紫 日付 山 「広紫」 日付 山 展 展 人民 馬西院名葉央南田倉風椎井昌嶺馬北港南馬	山宮長大熊北福宮東福大福愛静山兵愛兵京兵才   海   海    海
	通 信 公 🏻 🏗	大 学 る 類	之							
	科	•学年		夭	á	呂	身長(cm)	体重(kg)	出身校	出身地
艇指揮	電	3	◉ 菊	地	昭	治	168	61	由利工高	秋 田
艇 長	材	4	田	中	康	己.	175	63	津 高	三重
$1\\2$	電電	3 2	◎ 石	川 部	à.	進 治	$\begin{array}{c} 172 \\ 170 \end{array}$	63 58	名古屋市立北 大阪 電通 高	愛 知 香 川
3	電電	2	吗弓	田田	永 長	政	$\frac{170}{170}$	61	石版 电超 局福 島 高	福島
4	電	4	小丿	原		均	171	68	羽幌高	北海道
5	電電	3	東	谷士		伝	170	60	宮古水産高	岩手
6 7	電電	$rac{4}{4}$	白 浅	木 野	正	夫一	$\begin{array}{c} 172 \\ 168 \end{array}$	78 60	尼崎東高釧路湖陵	兵 庫 北海道
8	電	3	佐	藤		之	168	60	宮城水産高	宮城
9	通	4	麻	田	直	人	175	70	小樽桜陽高	北海道
$\begin{array}{c} 10 \\ 11 \end{array}$	通通	4	大 高	村丽	征	茂 之	$\begin{array}{c} 175 \\ 168 \end{array}$	$\begin{array}{c} 74 \\ 63 \end{array}$	八 潮 高 函 館 東 高	東 京 北海道
$\frac{11}{12}$	通通	3	同 横	頭 田	11111	公公	172	69	图 點 果 局 柏 崎 工 高	北 伊 坦 新 湯
			-							. •

_												-			
	東京	商	船	大 学											
	顧問	中	島	; 保	司				(注)	● 印主	将 ②	印副将			
			科	•学年	B	-	名	<del>,</del>	身 長(cm)	体重(Kg)	出 身	校	出身	事地	
	艇指	揮	N	3	佐	藤	わた		165	62	秋 田		秋	田	
		長	N	1	酒	井		信	165	62	古川		宮	城	
	1		E	1	太	田		敏	162	59	小山.		東	京	
	2		N	1	塚	本	浩	$\equiv$	168	65	岐 山		岐	阜	
	3		E	1	Щ	本	信	良	162	60	田園調	布高	東	京	
	4		N	1	田	村		卓	170	60	大 宮	高	宮三	崎	
	5		E	1	石	本	明	生	168	70	木 本		Ξ	重	
	6		N	2	西	部	好	昭	169	66	魚津		富	Щ	
	7		N	3	●竹	井	義	晴	170	70	栃木		栃	木	(
	8		E	2	宮	里	隆	春	175	74	甲南		鹿児		,
	9 10		E N	1 1	山 中	岸 井	昭	人武	$\begin{array}{c} 170 \\ 170 \end{array}$	72 65	札 幌 三国ケ		北海	<sup>#坦</sup>	
	11		N	1	田田	中	英	山司	170	65	三国 / 長 生		大千	葉	
	12		E	2	松	一岡	大	隆	166	67	横須		愛	知	
	補	•	N	2	中	島		洋	170	68	熊本		熊	本	
					·	~		• •			,,,,			•	
												•			
	主	務	N	3	佐	藤	わり	こる	165	62	秋 田	高	秋	田	
							·								_
_	東 京	 k s	〈産	大学								-			
	顧問	柳			郎										
			科	•学年	Е	E	á	Ż	身 長cm)	体重(Kg)	出身	校	出具	身地	
	艇指	揮	漁	4	松	岡	秀	雄	1 68	63	竹 早	高	東	京	
		長	増	4	◎紫	垣	由	文	175	67	熊本		熊	本	
	1		増	4	佐	野	市	郎	169	65	岐阜		岐	阜	
	2		漁	2	橋	本		昇	165	63	杉並		東	京 京	(
	3		漁	3	菅	野	雅	彦	175	80	九段		東	京	(
	4		食	3	北	村	英	雄	175	74	富岡		徳	島	
	5		食	4	加	藤	泰	顕	173	72	桂草へ	高	卢	梨庫	
	6 7		漁 漁	$rac{4}{4}$	内	田田	博	裕中	175 180	72 80	葺   合     八幡中	高	兵 福	<b>声</b> 岡	
	8		食	3	<ul><li>● 稲</li><li>鈴</li></ul>	木	日	史 徹	175	72	大教		伸東	京	
	9		増	3	小	堀	彰	彦	170	69	横浜聖			条川	
	10		漁	4	池	田	博	志	169	75	大安		岡	山	
	11		増	$\overline{4}$	柳	沢	10	均	169	67	高峭		群	馬	
	12		漁	3	小	林	伸	久	167	68	上田		長	野	
	補		選	. 2	菊	田	省		176	67	気 仙		宮	城	
	補		海	2	永	田		司	169	63		東 高	Ш	形	
	補		海	2	中	村	. •	等	173	66	青 教		青	森	
	補	マルァ	漁	2	保	延	良		169	60	甲府		Щ	梨	
	主	務	漁	. 4	松	岡	秀	雄	168	63	竹 早	上 高	東	京	

長顧 艇艇 1234567891011	<ul><li>・ 3 3 2 2 3 2 3 3 3 3 2 3 3 3 3 3 3 3 3</li></ul>	水杉鉛上水山川中横末池木福 久 久 田山山田頭田保村井次田下田	実征茂弘潤英晶隆耕亮紳 一名 想治久幸一行博之郎二一泉智:	(注) ●印主将 身良cm 体重写) 166 60 160 55 165 60 168 60 162 55 165 60 178 65 184 78 178 70 173 70 175 73 170 63 176 65	出 長玉加玉諌長佐松小三土小市身崎 世 崎世江	出 長熊鹿熊長長島福福高福大身 児地 崎本島本崎崎崎根岡岡知岡阪皇
12 補 補 補 補 主 <u>務</u>	海海海海海海海海	浜森黒徳田淡木 田田崎井下	琢敬洋 正 英 敏 哉輔介 典雄 夫 泉	172 63 172 60 168 60 170 62 166 60 163 55 170 63	鹿佐野鹿 字桃 小屋 建	鹿長愛鹿愛大福児 児 鬼傷媛島媛の
日 本顧問 嶋	大 学 鳥 村 哲 科 ・学年		名	身 長(cm) 体重(Kg)	出身校	出身地
艇艇 1234567890112 蔣長 123456789018 務	<ul><li>水水水食水水水水水水水水水,水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水</li></ul>	<ul><li>● ②</li><li>杉畑立中土角新村内岡野栗福山中上畑 村畑立中土角新村内岡野栗福山中上畑 山瀬原西方田宅田田村村山留下前村瀬</li></ul>	景 富秋祥嘉正政福敬昌 雄辰崇石 一個人工 医水样素正政语数目 地质崇清顺楽一雄久平宏洋美美輔利朗郎郎順	171 60 176 78 176 67 177 67 172 63 172 63 172 63 176 68 177 75 177 67 170 64 172 65 168 63 165 60 168 60 174 68 175 73 176 78	日海三日茅柏山山県山日日長日由市海水、谷大ケーロロ立口大大崎大度立る。水大北、水水大水ケケ日三育志校高、水大北、水水大水ケケ日三育志校城産垣陵陽産産津産丘丘大島英野城	I 神東愛岐神神山山山山東東長静鳥千東7 奈 奈奈

防顧 艇艇 主間 指 1234567890112 務 揮長		校 学 3 3 3 1 2 2 2 1 3 1 2 2 3 3 2 1 2 1 3	●	川浦沢東	正幸秀和 一智嘉満龍義公 洋秀 憲高名	明幸徳一司豊馬史則人也則和洋治和明之司	(注) 身長(cm) 176 156 164 165 169 165 178 173 178 178 176 169 174 167 160 176 170	<ul> <li>● 体重等</li> <li>年 1</li> <li>年 1</li> <li>年 1</li> <li>年 1</li> <li>年 2</li> <li>6 3</li> <li>6 4</li> <li>6 5</li> <li>6 6</li> <li>7 7 4</li> <li>6 6</li> <li>5 8</li> <li>6 7 7</li> <li>7 4 8</li> <li>6 5</li> <li>6 5 8</li> <li>6 7 7</li> <li>7 4 8</li> <li>6 5 5 8</li> <li>6 7 7</li> <li>7 4 8</li> <li>6 5 5 8</li> <li>6 5 7</li> <li>7 4 8</li> <li>6 5 5 8</li> <li>6 7 9</li> <li>7 9</li> <li>8 9</li> <li>9 9</li> &lt;</ul>	出 太佐鉾小古佐神矢城新橘秋江長島大字東出 日 下 7	賀日倉可沼崎部 高田別野原和土大 門	高高高高高高高高津校高高高高高高	出 茨佐茨福茨宮佐熊福新静秋北長長神熊東広身	城賀城岡城城賀本岡潟岡田道野崎	
三顧 艇艇 主	人 科 水水海海工工海海海海水水海工水海大 口	学 3 3 2 2 2 2 2 2 3 3 4 4 4 3 4 2	夫 平玉柘豊西加井玉小中河大北永大豊 D	5. 野置植田條古狩田林元村平野田村田	勝一幸 永康晴茂章毎浩定衛	名人典弘徹治宏久太博博史己一旦弘	身長cm) 165 174 171 170 173 174 173 170 175 172 174 178 167 166 167 170	体重写 58 60 64 59 60 62 61 62 67 68 74 62 59 59	刈昭東明東横洛天東寝松膳千半瑞明出	身 須 王住屋	交 谷和郷星郷賀東寺吉川坂所種田陵星	出 愛愛愛大愛愛京大大大三滋愛愛愛大	地 知知知阪知都阪阪阪重賀知知知阪	(

神 戸 顧問 杉	商船		学 典				(注) ●	印主将	◎印副将		
	科	•学年	迅		名	7 1	身 長(cm)	体重(Kg)	出身校	出,	身地
艇艇 1234567890112 揮長	原機機航原航原機原航原原航航航航	4 4 2 4 4 2 4 3 3 2 2 3 3 2 2 2	<ul><li>◎</li><li>◎</li><li>Ø</li><li>Ø</li></ul>	重松上本上本広田屋本 池木荘野田	和英敏節純久春穰 盛英勝雅吉泰	薫久一則夫二雄幸治明保彦行生治和	170 167 165 171 167 176 169 172 174 178 174 173 169 168 170	60 62 63 65 65 65 67 63 62 60 62 63 65	西屋私山大北済武猶花宇長御松高岡立 田 々 興 治 江 大上 中 山 安 安 市代宮口原条黌蔵館園田田影北田寺	長大山栃兵熊東長大三兵兵島大	岡野阪口木庫本京崎阪重庫庫根分山
主務	機	4	村	田田	春	幸	172	67	武蔵		京

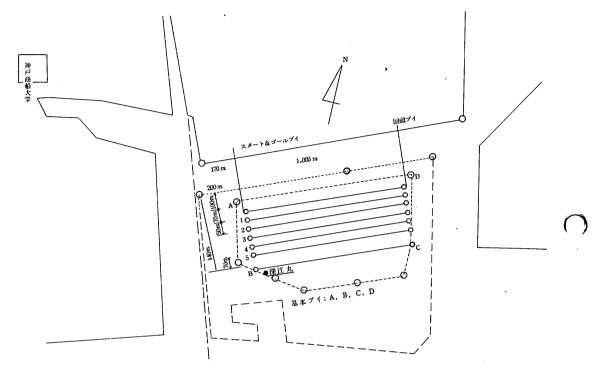
MEMO

過去の成績

回	年月日	場所	参加校	優勝	2 位	3 位
1	32.6.23	東京	8	東京水産大学	東京商船大学	神戸商船大学
2	33.5.25	神戸	10	東京水産大学	水產大学校	東京商船大学
3	34.6.7	呉	11	水産大学校	海上保安大学校	東京水産大学
4	35.6.15	横須賀	10	神戸商船大学	水産大学校	海上保安大学校
5	36.5.28	神戸	11	東京水産大学	水産大学校	三重県立大学
6	37.5 <i>.</i> 27	館山	10	東京商船大学	防衛大学校	水産大学校
7	38.5.19	呉	11	東京水産大学	海上保安大学校	神戸商船大学
8	39.5.10	館山	11	神戸商船大学	海上保安大学校	東京商船大学
9	40.5.16	神戸	11	神戸商船大学	防衛大学校	水産大学校
10	41.5.15	横須賀	11	海上保安大学校	防衛大学校	三重県立大学
11	42.5.14	呉	11	防衛大学校	海上保安大学校	三重県立大学
12	43.5.19	館山	11	防衛大学校	神戸商船大学	海上保安大学校
13	44.5.23	呉	9	防衛大学校	東京商船大学	海上保安大学校
14	45.5.17	館山	12	防衛大学校	長 崎 大 学	海上保安大学校
15	46.5.16	神戸	12	防衛大学校	神戸商船大学	鹿児島大学
16	47.5.21	横須賀	13	防衛大学校	海上保安大学校	神戸商船大学
17	48.5.20	呉	12	海上保安大学校	東京水産大学	東京商船大学
18	49.5.19	館山	13	長崎大学	海上保安大学校	
19	50.5.18	館山	12	神戸商船大学	防衛大学校	
20	51.5.16	神戸	13	神产函船大学	長崎大学	東京水産大学

### 審 判 規 則

- 1. 使用艇 オール及びコースはレースの都度抽選により決定する。
- 2. スタート
  - (1) 各艇は、指定の時刻、コース順に従い、スタートラインに整列する。
  - (2) 5分前をマイクにより通達、スタートブイに着く。ブイに着き用意が完了したら、艇長は陸上審判員に手を挙げて合図する。
  - (3) スタート用意: 号笛短声連続、手旗2原画、号笛長一声手旗頭上より一回 転する。
  - (4) スタート: 頭上の手旗を垂直に振下すると同時に号笛を打つ。
- 3. 審判長、審判員がスタートを不完全と認めた場合には、直ちにレースを中止せ しめ、スタートラインに呼び返す。諸信号、審判艇コース横断。
- 4. スタートにおける号令前の飛出し、及び艇の事故によるスタートの遅速等は2 回で失格である。スタートにおける遅速トグルをラダーに引っかけた場合は艇の 事故とは認められない。
- 5. 回頭は、左回頭(反時計回り)とする。回頭は指定の回頭旗を回頭するものとし、他の回頭旗を回頭した場合、及び回頭旗に艇又は、オールの一部でも接触した場合は失格である。
- 6. ゴール: 艇首が規定のゴールラインに入った順序をもって順位とし、審判員 が判定する。
- 7. 同着の場合は追込艇の勝とする。
- 8. ゴールイン時のスタートブイタッチは失格としない。
- 9. 各艇は自己のコースを航行し、もし誤って他の艇に接触その他不正行為があったと審判員の蔭めた時は失格とする。
- 10. レース中のコースにおける障害、自艇の故障等は他艇の不正な接触を除く他各 艇自らこれを忍ぶべきものとする。
- 11. レースに関する異議申立等は、すみやかに艇指揮がこれを行い、審判長が裁決する。
- 12. オールは予備2本を積み自由に使用してよい。
- 13. 補欠は2名以内自由に交替できる。この項の含みとして、病人その他クルーの 事故等については、審判長の判断を持つものとする。
- 14. オールは流したままゴールインしても差支えない。



レースの手引

本大会の使用艇は 12人漕ぎ 9メートル・カッターである。カッターとは、帆船時代の船上で一番大きいボートをロング・ボート(長艇)と呼んだのに対し、それよりも小さいボートまたは短い方のボートという意味の短艇を指す名称である。現在、ほとんどの海事教育機関で舟艇実習に用いられている。船舶救命設備規則に定められる端艇は、カッターばかりでなく伝馬船など救命艇以外の小舟艇の総称である。

使用艇の外板は木製よろい張りで、12 本のオールの他に予備オール2 本を備える。漕手(クルー)番号は右舷艇首から1、3、5~11となり、左舷艇首から2、4、6~12となる。1、2番を艇首員 (バウ)、11番を整調手(ストローク)という。艇尾の左舷で右手に舵棒(チラー)を握るのが艇長(コックスン)で、右舷で全体の指揮を執るのが艇指揮(チャージ)である。

レ-スは千メートルの直線コースで折り返し2千メートルの距離で行う。各艇の艇首がスタート・ライン 上一線に並んだ時、号砲および手旗信号で出漕し、スタート・ラインから千メートルの所に設置された各 コース毎の回頭旗を左回り(反時計回り)に回って帰って来る。スタート・ラインがそのままゴール・ラ インとなり、艇首が達した時を以ってゴールとする。

予選は各グループ 4 チームで行い、それぞれの優勝 チームおよび 2 位チームによる敗者復活レースの優勝チームの計 4 チームが決勝レースを行う。また敗者による順位決定レースも行われる。レースはいずれも時間的ずれによる海況の変化に影響されることが多いので所要時間ではなく着順位で決定される。

ピッチ (1分間に漕ぐ回数)は大体 30 前後 であるが、チームによって漕法が異なるので必ずしも一定ではない。レースの所要時間は10分余とされているが、天候次第で30分以上かかることもある。スタート時のダッシュ、回頭法、ラストスパート、風潮などに対する技術の巧拙はもちろん、それまでの練習の成果いかんによってレースは思いがけない方向に展開することがある。レース中は一瞬たりとも息をぬくことの出来ないチーム全員の士気をどのように振い立たせるか、まことに海の男にふさわしい豪快なスポーツである。

時 刻	種目	コース	校	名 艇	着順	タイム	
09:00		ŀ	開 会	式	-		
09:50	予選第1レース	/	東京南船力	(学 /	4	12-00.1	
		7	海技大学	校 6	5	12-354	
		3	三重大	学 4	ي	11-40,3	
		4	長崎大	学习	/	11-01,2	
		5	東京水產力	学之	2	11-06.0	
10:35	予選第 2 レース	2	更新產信	大学 /	3	12-37.6	
		3	神奈川新	大学 6	4	12-49.4	
		4.	建児島大	学女	/	11-37,3	
		5	水產大学	一族 3	2	11-45.7	
11:20	予選第3レース	2	且本大	学/	3	11-38.6	
		3	神产菌艇大	学と	/	11-14.6	
		4	防衛大学	不校 6	4	11-41.4	
		5	场上保安大	学校 《	2	11-21.7	17 4
12:00	~ 13:00	اِ	邑 食 •	休 憩			) 便仓
13:10	敗者復活レース	/	日本大	学3	3	11-42.0	6
	(兼順位決定レース)	2	東京水產	大学 /	2	11-18.0	
		3	梅上保安大	学校 6	/	11-17,2	
		4	水產大学	C. 校 4	4	11-448	7
		5	三重大	学》	5	11-52.4	8
13:55	順位決定レース	/	東京商組大	学3	۵	12-01,2	10
		٦	神奈川海科	大学 4	3	12-17.8	//
		3	電気通信	大学 /	4	12-21.9	12
		4	防衛大	字校 2	/	11-32.0	9
		5	梅技大学	学校 6	5	12-495	13
14:40	決勝レース	/	東京水產	大学 4	Э	11-11.3	3
		2	梅上保安大	学校 2	4	11-17.6	4
		3	產児島大	学 /	5	11-26.0	5
		4	神商船	大学 3	/	11-05.4	/
		5	長崎大	学 6	2	11-102	Z
16:00			閉 会	式			